

令和2年度 第2回学校評議員会 会議録

日時：令和3年1月29日（金）11:10～

場所：雫石高等学校 書道室

授業見学（2校時 10:10～11:00）

出席者	評議員	三河千春	雫石高校教育振興協議会長
		藤村篤	盛岡西消防署雫石分署長
		松原宏樹	雫石商工会青年部長
		柿木典子	雫石町社会福祉協議会事務局長
		藤澤崇	雫石中学校長
	雫石高	小原由紀	校長
		千葉靖久	副校長
		柴内三幸	総務主任
		亀山純史	教務主任
		小松原清敬	進路指導主事
		八重樫徹	生徒指導主事
		佐藤秀明	保健主事

1 開会

2 校長挨拶

3 教育活動の概況説明

- ・教育活動の概況について
- ・学校評価について
- ・その他

4 ご意見・提言

- ・地域の協力を得て様々な活動がみられた。
- ・雫石中学校3年生全員参加の高校見学は、初めてだがすごく良い試みである。「雫石高校将来ビジョン」の推進の面からもありがたい。
- ・授業を参観し、広い教室を使用し、換気なども留意されていた。
一部、生徒間の距離が近く心配なところも。間隔をあけたほうがよいのでは。
- ・先生方の目が行き届いている。1人1人に向き合っておりマンツーマン授業にも感銘を受けた。
うらやましい教育環境である。

- ・消防関係の行事がほぼ実施できず、高校生の参加を考えていた消防演習も中止となり残念。今年には開催したい。若い人の参加は盛り上がり、また若い人の消防への理解が深まる。どのような形でも、参加いただければ。
- ・救命講習会、職場体験等を今年も受け入れたい。密を避けてできる状態で準備している。
- ・評議員として2年目となるが、雫高が、思っていたイメージと異なると感じている。「知らなかった」ことが多い。
- ・授業風景は、生徒と先生の距離が近く、また「今日の目標」を示すなどわかりやすい。
- ・「虹色コンパス」は地域に根付いた教育活動である。内容、地域との関わりが濃いものになっている。将来自分たちでこの町を作っていく、という地域貢献する人材が増えるのではないだろうか。
- ・学校評価アンケート、よかったという評価が多い。素晴らしい雫石高校だと思う。生徒に寄り添う雫高の姿を多くの人にもっと知ってもらいたい。情報発信をサポートしたい。
- ・先生方のご理解を得て、アマビエ君作りやスノーバスターズなど、多くの事業に協力いただき助かっている。
- ・教育環境が素晴らしい。
- ・生徒一人ひとりに目が行き届いていると感じる。
- ・生徒たちもこの環境に甘えることなく、探究の時間で学んでいるように、自分たちで考えて行動する力をますますつけて成長してもらいたい。
- ・コロナ禍のため郷土芸能委員会が「雫石よしゃれ」を地域の方々に披露する機会が少なく残念である。
- ・中高の連携が盛んになっていることをありがたく思う。
- ・アンケート結果を見て「授業がわかる」98.6%に驚いた。1人1人に行き届いた指導の賜物と感じる。
- ・う歯保有状況については中学校についても同様の問題を感じていた。
- ・雪上運動会が中止となってしまったが、将来ビジョン検討会で「小学生や中学生を呼びたい」という話が出ていたのに残念である。中学生や小学生と一緒に参加できる機会があればと思っている。
- ・中学校でも地域との関わりを大切にしている。「虹色コンパス」の取組はとても良い。
- ・雫石町の基本目標「知・徳・体・公の調和のとれた教育の推進」に連携をお願いしたい。

謝辞（校長）

5 閉会



授業見学（2年生/美術Ⅱ）



学校評議員会